

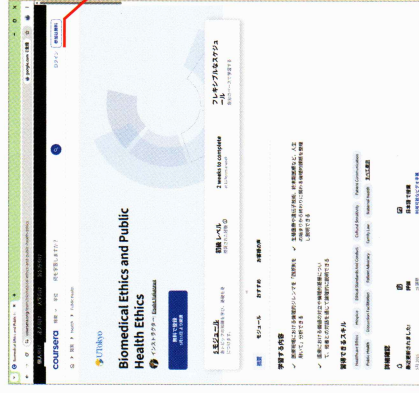
「医療と公衆衛生の倫理」
Biomedical Ethics and Public Health Ethics
「医療と公衆衛生の倫理」
は配信サイト「Coursera」のオンライン講座です。
無料で受講できます。

1. コーセラの講義ページにアクセス

<https://www.coursera.org/learn/biomedical-ethics-and-public-health-ethics>



ページ右上
「参加は無料」
ボタンから
アカウントを
作成してください



2. メールアドレスを入力し、パスワードを設定してアカウントを作成してください。

アカウント作成後、「無料で参加」ボタンを押すと「全コース、修了証なし」表示が出ます。画面の「続ける」ボタンをクリックし、次に出てくる画面の「学習を開始」ボタンのクリックで受講登録が完了し、講義が始まります。

受講修了後は是非
アンケートにご協力を！

皆さまの声で
講義はどんどん
充実して
いきます！



東京大学のオンライン講座

「医療と公衆衛生の倫理」

Biomedical Ethics and Public Health Ethics

医療や福祉の現場では、患者と医療従事者、キーパーソンなど、多様な関係者間で、診断や処置について様々なジレンマが生じます。治療、介護、妊娠出産、そして終末へ、幸福な結果を得られるよう対応してゆくなかで、私たちは多くの判断と意思決定をジレンマを越えて実行していかねばなりません。そして困ったことにこれらの判断と意思決定にひとつの正解はありません。この講座で学べることは、このやっかいな判断と意思決定の「物差し」を、幾千年かかけ人が考え続けてきた哲学の「倫理学」を主に、近代以降の社会学、法学に、先進的な医学まで広く多様な立脚点から探りだしていきます。これが「医療倫理」です。テーマは大きく3つです。

医療倫理の四原則：

キーワード「自律尊重」「無危害」「善行」「公正」を使い複雑なジレンマへの対処方法を養います。

人生の始まりと終わりの最前線：

受精卵の選別、代理母出産、ゲノム編集の是非から延命治療の中止、欧米での安楽死の事情まで、最新の課題を広く深く議論します。

「対話」の技術：

患者一人ひとりの物語（ナラティブ）を大切にしながら、家族や医療チームと「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」を重ねる過程を学びます。

この講座は、医療従事者の方はもちろん、自分や大切な人の将来の選択に備えたいすべての方に向けた内容になっています。医学、法学、哲学といった学際的な視点から、人生を豊かにするための倫理を一緒に探しましょう。



東京大学 公開オンライン講座 UTokyo MOOC

医療と公衆衛生の倫理

Biomedical Ethics and Public Health Ethics

医療や福祉の現場での判断は

どこに基準をおくべきなのか？

出生前診断を医療者としてどう説明する？

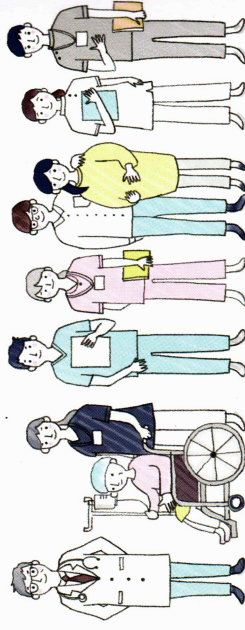
治る希望のない

病にかかってしまったとき

意思が伝えられなくなったとき

どのような治療や生き方を選ぶべきなのか？

私たちは当事者としてどうすればよいのか？



医療と福祉の現場で起き続けるこうした問いに唯一の正解はありません。しかし、そのときの感情や直感でなく、「何が最善か」を導く『思考の物差し』は存在します。この講座ではこの『物差し』を、『医療倫理』として身につけ、「そのとき」必要になる判断の根拠として実践するやりかたを学習します。



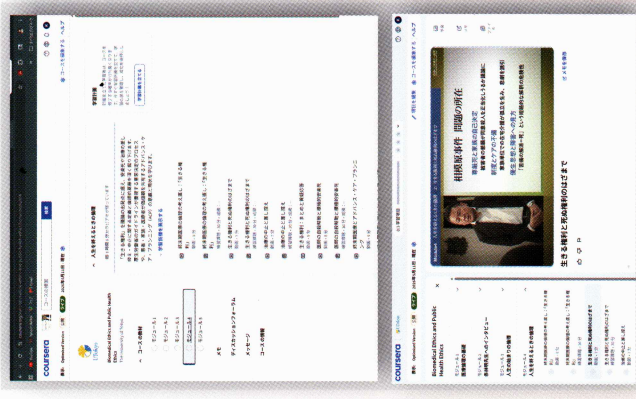
WEB 講座

coursera

で開講中！

コーセラ『医療倫理』はWEBで受講するオンライン講義です。

この講義は「モジュール」という単位で構成されています。「モジュール」内には動画の視聴、提示された課題に回答する形式、そしてAIと対話することで気づいたテーマを明らかにして理解を深める学習があります。これを順番に視聴し、回答・対話することで学習が進みます。モジュールの他にディスカッションフォーラムがあり、他の受講者たちと講義内容について自由にディスカッションを拡げることができ、主催者にむけて質問などがあればメッセージを寄せていただくことも可能です。



充実したAI機能で先生と対面で話しているような体験や患者や医療者とのリアル対話のシミュレーションができます。

「学習 NAVI」機能で関心のあるテーマを見つけないことができます。何かから調べたいかわからない？かまいません。「学習 NAVI」機能がそのときの関心に合う入口を示します。「出生前診断を知りたい」「家族の終末期医療を学みたい」「医療者として患者との対話を知りたい」「安楽死や尊厳死の議論を見たい」など、気になることをおまかせに入力すれば、講義動画・学習内容が見つかります。専門知識は不要。まずは「自分が気になる問い」から学び始めてみてください。

AIと対話しながら、医療倫理について「自分の考え」を深めましょう。先生の代理AIと対話する「AIダイアログ機能」を使えます。教室で先生と話すように理解が深まります。AIは必ずしも答えは教えません。「あなたはどうか考える？」「その選択で大切にしたい価値観は何？」「別の立場から見るとどう？」と問いかけながら、あなたの理解を深めます。医療倫理には、唯一の正解がない課題がたくさんあるからこそ、自分自身の価値観や大切な人との関係を見つめながら考えることが大切です。AIダイアログは、知を得るだけでなく、あなたの「考える力」を導き引き出します。

「AIロールプレイ」で「そのとき」の場面、意思決定の実験を体験できます。妊婦・患者・家族・医療者・介護者などの立場をAIが担い、実際の医療現場や家庭で起りうる対話、たとえばこんな場面を体験させてくれます。

- 延命治療を家族で話し合う
- 患者の意思をどこまで尊重するか考える
- 出生前診断について説明する
- 医療チームの中で意見が分かれる

医療倫理を実践するには、「知っている」だけでなく、「対話できる」ことが大切です。この「AIロールプレイ」を通し、相手の立場を理解しながら実際のコミュニケーションや意思決定を行う難しさを体験できます。

※安心してご利用いただくために
AIとの対話内容（中間データ）は、講師や管理者が閲覧・取得できない構造になっています。「まずは気軽に考えてみる」「自分の気持ちや考えを整理してみる」といった形で、安心してご利用ください。

5つの動画講義

Module1 医療倫理の基礎 (101分)

倫理学の歴史をたどり、トロッコ問題などを例に、倫理的思考の基礎を学びます。生命医学倫理の「四原則」、倫理理論（義務論、功利主義、正義論、徳倫理学）について解説し、実践について説明します。

Module2 赤林明教授へのインタビュ (37分)

日本の医療倫理学のバイオニア赤林教授に歴史と日本での展開を聞きます。自律性、家族の役割、伝統的価値観の影響、臨床現場の倫理課題を、患者・家族・医療従事者の立場からの検証、遺伝子治療など科学の進歩が突きつける課題を議論します。医療倫理が社会や現場で役立つ知であることが理解できます。

Module3 人生の始まりの倫理 (97分)

出生と生殖の現場での倫理課題を学びます。科学技術の進歩、ゲノム編集はどこまで許容されるものなのかを考へ、代理出産や人工授精など生殖補助医療により変化した親子関係、出生前・着床前診断の倫理的影響、人工妊娠・中絶論をめぐる対立、生殖の自由の両義性を議論し、今後の課題を討論します。

Module4 人生を終えるときの倫理 (61分)

海外の安楽死の例から、人生の終末の決定権の肯定・否定の意見を比べ、考えます。終末期の意思決定プロセスを理解することから「生きる権利」の根拠を再確認し、社会に与える影響と今後の課題を議論します。医療倫理を「物差し」として使った議論を実践します。

Module5 三浦靖彦先生へのインタビュ (32分)

臨床現場の第一線にいる三浦先生と終末期の意思決定の日本での現状を考えます。本人の意思と家族・関係者の気持ちの両方を見て、価値観の多様性の気づきをもちますツール「もしバナゲーム」(ACP)を体験し、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のあるべき姿を学びます。患者と家族の「物語」(ナラティブ)の重要性が導かれます。

代理母の倫理的問題

1. 自律性と身体自己決定権
代理母契約は女性の自己決定の延長として正当化され、他方で、経済的・社会的弱者が強制に代理母に従事する搾取と不平等等
2. 搾取と不平等等
富裕層による「生殖の外国委託」は、貧困層女性の「グローバル・サウス」から「グローバル・ノース」への生殖的移動
3. 母性・親性の再定義
「母」か、誰に子どもへの法的責任と権利があるのか
4. 子の最善の利益とアイデンティティ

講師

中澤 栄輔

東京大学 大学院医系研究科 公共健康医学専攻
行動社会医学講座 医療倫理分野 教授

ゲスト出演

赤林 明

東京大学名誉教授・ニューヨーク大学医学部研究科教授
岩手保健医療大学 成人看護学・教授 (臨床倫理研究センター長)

参考文献

学生さんのための医療倫理学
東大生が学んだ超難問を巡る旅
新興医学出版社 定価 ¥2,420
ISBN 9784880029078



入門・医療倫理 I
勁草書房 ISBN9784326102600
定価 3,630 円 (電子書籍もあり)



参考資料

もしバナゲーム
(一般社団法人 iACP)

<https://www.i-acp.org/game.html>



人生の最期にどう在りたいか。

「もしバナゲーム」は、重病時や人生の最期に「自分にとって何が一番大切な」を考え、家族や友人と語り合うためのカードゲームです。「縁起でもないから」という理由で重いテーマをタブー視せず、ゲームを通じて自身と周りの人たちの価値観を整理し、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）のきっかけを作るツールとして活用されています。